Member IMC Group
Tungaloy
INDUSTRY 4.0

世界基準を**いわき**から
www.tungaloy.co.jp

東京ガスは、東京2020オリンピック・パラリンピックを応援しています。

見ているのは『感動の先にある未来』
～頑張る人に、いいエネルギーを。～

パッチョ

TOKYO 2020
TOKYO GAS
TOKYO 2020 PARALYMPIC GAMES
東京2020オフィシャルガス・ガス公共サービスパートナー

https://www.tokyo-gas-2020.jp/ 東京ガス 頑張る人

復興から創成への挑戦

JR常磐線 いよいよ全通

常磐線沿線は東日本大震災以降、復興に向けた多くのプロジェクトが同時進行する注目地域。ここでは、常磐線の主要エリアである福島県と茨城県の工業団地情報のほか、沿線に立地する企業や復旧工事を担った企業を紹介する。

常磐線を支える企業・沿線立地企業紹介

福島水素エネルギー研究フィールドでは世界最大規模の「パワー・トゥー・ガス（ＰｔＧ）プラント」を設置。７月から実証運転が始まる

福島県浜通りエリアは、水素活用システムの活性化のカギとなる実証を行う「福島水素エネルギー研究フィールド」の整備や、世界でも類を見ないロボット関連の実証試験施設「福島ロボットテストフィールド」の全面開所など、震災10年を目前に新たな姿が見えてきた。

鉄道を支える技術

大同信号は日本の主要鉄道信号メーカーの一つ。福島県浅川町に主力工場を有し、東日本大震災では被災者とも言える立場であった。復旧が最後となった富岡駅―浪江駅間を含めた常磐線での信号保安設備などの復旧に尽力した。

京三製作所は1917年の創業以来、国産初の自動閉そく信号装置や道路交通信号機などの開発・製造に成功。以来、「安全と信頼」を基調に歩み続け、今では基軸の鉄道信号システム、交通管理システム、ホーム安全設備などを手がける。

日本信号は信号保安装置、自動改札機、ホームドアの製造などを手がけて鉄道の発展とともに歩み、交通インフラに関わっている。常磐線では1902年に前身の三村工場が千葉県の我孫子駅に保安装置を納入以来、全線で列車の安全運行に貢献している。

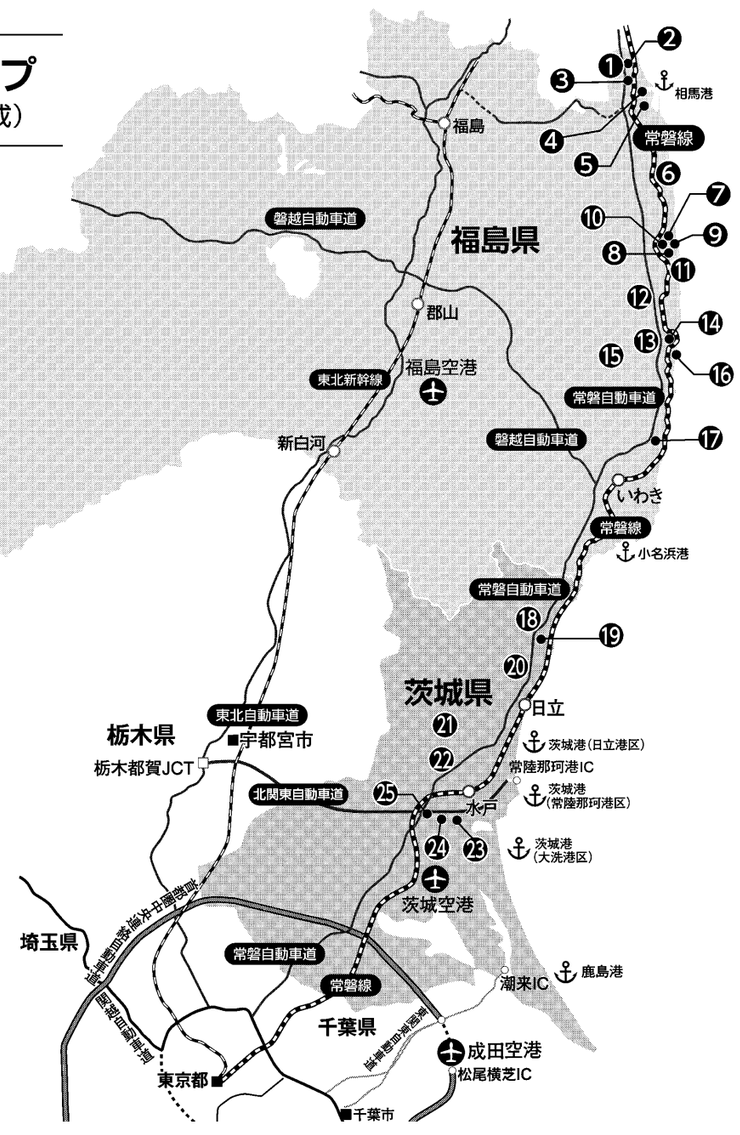
県が進めるロボットでなく、本社機能や研究開発拠点の進出も活発。県南のつくば市には研究開発型企業が集積し、県北の日立市には大手メーカーとの長年の取引で培った高い技術力を誇る企業が集まる。鉄道海洋工業地帯には製鉄所や石油化学工場が集積するなど、産業の奥深さが特徴だ。

茨城県は企業立地が好調で、立地面積は全国トップで推移する。近年では生産拠点だけ

常磐線沿線の工業団地マップ

（茨城県と福島県浜通り地区を中心に作成）

①新地南工業団地
②駒ヶ嶺工業団地
③相馬中核工業団地（西地区）
④相馬中核工業団地（東地区）
⑤相馬南第二工業団地
⑥南相馬市復興工業団地
⑦浪江町北産業団地
⑧浪江町南産業団地
⑨浪江町棚塩産業団地
⑩藤橋産業団地
⑪中野地区復興産業拠点
⑫大熊西工業団地
⑬富岡工業団地
⑭富岡産業団地
⑮田ノ入工業団地
⑯楢葉北産業団地
⑰いわき四倉中核工業団地
⑱南中郷工業団地
⑲赤浜地区工業団地
⑳日立北部工業団地
㉑宮の郷工業団地
㉒那珂西部工業団地
㉓茨城中央工業団地（1期地区）
㉔茨城中央工業団地（2期地区）
㉕茨城中央工業団地（笠間地区）



「あした」は、ナニイロ？

鹿島のしごと。
それは「あした」をつくること。
人と自然と向き合って、
よりよい毎日をつないでいくこと。
暮らしを描く、ものづくり。
無限の創造力で、彩り豊かな未来へ。

100年をつくる会社
鹿島

今日も、未来を
つくっています。

ビルを建てる。橋を架ける。道を繋ぐ。街を築く。
そのひとつひとつが未来の一部になっていく。
未来が仕事。それは、私たちの誇りです。
今日も、世界中の現場で、
未来が着々と生まれています。

時をつくる こころで創る
大林組
OBAYASHI